

# 多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

## 景観形成活動として「田んぼアート」に挑戦中

### 榊原みずすまし会



キックする少年の絵柄

令和元年のテーマは、今、熱戦が繰り広げられている『ラグビー』。ゴールポストにキックする少年のデザインは、榊原小学校6年生の 脇田凌翼君の作品。

多面的機能支払交付金を活用した榊原温泉田んぼアートの田植えイベントは、今年で10回を重ね6月9日に開催され、親子連れやグループなどで約350人の賑わいでした。

約2,900㎡の田に『ゆきあそび』、『紫大黒』など古代米とうるち米の6種類の苗で白、赤、ベに、黄、紫、緑色でアートを描きます。前日までに安濃町のシーエスコンサルタントさん

のご協力により測量、ピン打ちされたラインに従いチームに分かれ手植えをします。

「田んぼが、グニュグニュでおもしろい。」

「泥あそびが楽しかった。」と、全身どろんこになって田の中を走り回る子供の光景も見られ普段の生活では味わえない体験になったことと思います。

絵柄や文字が浮かび上がりアートの見ごろをむかえた7月、県道沿いの小高い丘に立ち全景を眺めた多くの方々からゴールキックへの声援がおくられたと思います。

収穫されたお米は、イベント参加者に些少ですが送付いたします。榊原温泉田んぼアート米をおいしく味わっていただく頃は、来年のアートデザインを考える時季でもあります。

さて、来年のデザインテーマは？



田植えの様子

### 水土里プロジェクトおぼた



田んぼに描いた伊勢えび

品種の異なる稲で水田に絵を描く「田んぼアート」を手掛けたのは、平成27年です。

種をどこで手にいれるか、どのようにして育てるのか、多面的機能支払事業として、どう枠組み中にいれるのか、大変難しい問題がありました。

まず、やるべきことは、現地へ行って学び指導をいただくことからと思い、三重県にて先駆者として取り組んでいる活動組織にお願いをすることだと考えました。

榊原みずすまし会(榊原田んぼアート)崎様に、絵柄をいつ募集するのか、誰に書いてもらうのか、作付け前に、苗の準備、

絵柄の田へ転写方法、田んぼ大きさに対しての必要人数、作付け時間を質問させていただき、適切な回答をいただいて第一歩を踏み出すことができました。

その後、飛鳥地域まちづくり協議会(熊野田んぼアート)の小畑会長とも交流をさせていただき、三重県での田んぼアートとしてお互い助け合いながら続けていきたいと思っています。

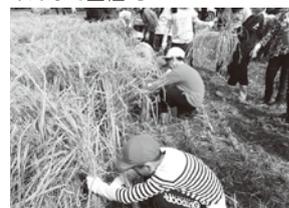
今年、明野小学五年生と共に、「伊勢えび」を田んぼに描くことができました。

9月には、昔の農作業体験をさせて、鎌で稲を刈取り、足踏み脱穀機にかけて、収穫しました。取れたもち米は12月に餅つきをして食べます。

泥に足を踏み入ると子供たちの笑顔や笑い声を励みに、今後もスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。



みんなで田植え



自分たちで稲刈り

**「多面的機能の維持・発揮活動  
第12回みえのつどい」が開催されます。**

『世代を超えて地域の“きずな”を育もう、  
それは未来への種まき』

日時:令和元年12月14日(土)

12:30~16:00 開場11:30~

場所:三重県総合文化センター(津市一身田上津部田1234)

**企業との連携・交流を希望している  
多面的機能の活動組織を探しています。**

三重県では、農作業等の人材確保等の課題を持つ活動組織と新たなビジネスやCSR活動を求めている企業を掘り起こし、情報提供して、活動組織と企業との具体的なマッチングの支援を行っています。興味がある方は三重県農地・水環境保全向上対策協議会に相談してください。

Tel.059-226-4824